

第50期 事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日



ゼリア新薬

Z E R I A

ゼリア新薬工業株式会社

証券コード：4559



株主の皆様におかれましては、  
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
第50期の事業概況に関しまして、  
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊藤 幸 顕

## C O N T E N T S

トップインタビュー .....	p.1
研究開発 .....	p.4
株主様優待のご案内.....	p.5
財務諸表(連結) .....	p.6
財務諸表(単体) .....	p.8
連結財務ハイライト .....	p.10
会社情報 .....	p.11
株式情報 .....	p.12
株主メモ .....	p.13

## Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



## トップインタビュー

Q

当期の業績についてお聞かせください。

A 当期の業績は、連結売上高が543億75百万円（前期比1.2%減）となりました。利益面につきましては、連結経常利益が24億4百万円（前期比20.0%減）、当期純利益が15億53百万円（前期比23.8%減）となりました。なお、当期配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。

Q

事業部門別状況について部門別にご説明ください。  
医療用医薬品部門はいかがですか。

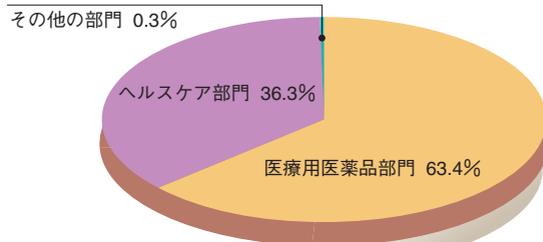
A 医療用医薬品部門では、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。また、営業力強化を目的としてコントラクトMRを採用し、重点品目の更なる市場構築に努めてまいりました。最重点領域である消化器官用薬におきまして、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は製品特性を活かしたプロモーション活動により売上が伸びましたが、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒」は市場環境の変化と市場競争の激化により苦戦を余儀なくされました。また、吸収性局所止血材「アビテン」、白血球減少抑制剤「アンサー20注」は伸びました。しかしながら、高血圧・狭心症治療剤「ランデル錠」、非ステロイド性鎮痛・消炎剤「ペオン錠80」は減少いたしました。また、平成15年9月に「マーズレン-S顆粒」の剤形追加として「マーズレンES錠」、11月には抗血小板剤「シロスレット内服ゼリー」の販売をそれぞれ開始いたしました。その結果、当部門の売上高は344億87百万円（前期比8.1%減）となりました。

Q

ヘルスケア部門はいかがですか。

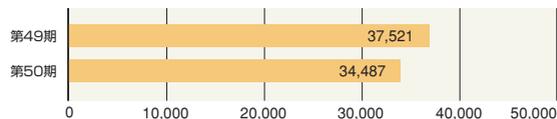
A ヘルスケア部門では、21世紀の超高齢化社会が進展する中でセルフプリベンション（予防）を指向した製品群を通じて社会貢献をすべく市場構築を進めてまいりました。基本政策としては、ゼリアフランチャイズストア連盟

### ■ 部門別売上高構成 (%)

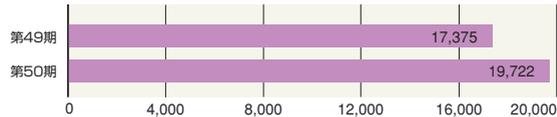


### ■ 部門別売上高推移 (単位:百万円)

#### ◎ 医療用医薬品部門



#### ◎ ヘルスケア部門



#### ◎ その他の部門



なお、営業成績につきましては前期まで販売ルートの相違から「特設部門」として記載しておりましたロイヤリティ収入、健康食品の販売等を「医療用医薬品部門」と「ヘルスケア部門」の売上高に含め、両部門に含まれない売上高を「その他の部門」として記載しております。それに伴い、当期売上高の前期比は前期実績を新区分に組み替えたものと対比して記載しております。

加盟の薬局・薬店、薬系量販店、一般小売店の販路別営業展開を柱として推し進めてまいりました。

ゼリアフランチャイズストア連盟加盟の薬局・薬店におきましては、ZP会（ゼリアパール会）会員への積極的な支援活動を行ってまいりました。

また、薬系量販店におきましては、大手ドラッグストアの連携やグループ化に対応しつつ、PB（プライベートブランド）品の提供や当社の独自性あふれるローヤルゼリー群、ヘパリーゼ群、コンドロイチン群に加えて胃腸薬群の市場拡大に向けた積極的な営業展開を進めてまいりました。

一方、一般小売店におきましては、積極的な広告展開により医薬部外品ドリンク「ローヤルゼリー配合ももの味」、「ローヤルゼリー配合りんご味」の販路拡大・市場開拓を進めるとともに、ラインアップ強化のために平成15年6月新たに姉妹品として「ローヤルゼリー配合ももの味ノンシュガー」、10月には「ローヤルゼリー配合りんご味ノンシュガー」を発売いたしました。



◎主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレンーS顆粒・ES錠
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療用具	アビテン・シリンジアビテン



◎主要一般用医薬品等

種別	製品名
滋養強壯剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
代謝性用薬	ハイゼリーB
	新ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエースII
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZS錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
胃腸薬	ウイズワン・ウイズワンα
医薬部外品	ローヤルゼリー配合ももの味(販売名:ヘルサンB)
	ローヤルゼリー配合りんご味(販売名:ヘルサンBA)
栄養食品	新健康習慣シリーズ

更に、市場ニーズの高まりとともにダイエタリーサプリメント(健康補助食品)のOEM品供給も行い順調な推移を示しております。

その結果、当部門の売上高は197億22百万円(前期比13.5%増)となりました。なおその他の部門の売上高は1億64百万円(前期比4.1%増)となりました。



## 研究開発についてお聞かせください。

**A** 研究開発においては、国際的に通用する自社オリジナル新薬の創製を念頭に、ICH（薬事規制のハーモナイゼーションに関する国際会議）の動向を受けた海外臨床展開を積極的に推進しております。

期待の新薬である自社オリジナル品の「Z-338」は、機能的胃腸症を適応症として、欧州においてフェーズⅡが順調に進行し、国内においてもフェーズⅡを開始いたしました。米国においては、山之内製薬株式会社との実施権許諾の基本契約に基づいたフェーズⅡが順調に進められており、日米欧3極での開発スピードアップに邁進しております。

また、米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」は、国内フェーズⅡが終了し、フェーズⅢに移行いたしました。

更に、本年度新たに導入したスイス・ティロツツ社の炎症性腸疾患治療剤「Z-206」は国内フェーズⅠを開始し、消化器分野での製品パイプラインの強化を図っております。

また、「アンサー注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢ開始の準備段階にあり、「ペオン錠」は急性上気道炎効能追加の製造承認を申請中です。

ヘルスケア営業部門向け製品につきましては、新製品、PB品を順次上市いたしました。



## 医療環境の変革の動きについて、どのようにお考えですか。

**A** 保健医療システム、保険制度や診療報酬体系に関する改革が進行するにあわせて、平成17年4月より、医薬品産業において製造販売承認制度の導入が盛り込まれた改正薬事法が施行されます。主な改正の中で、販売承認取得者は自らの製造施設を保有しなくても他の製造業者へ製造委託が可能となるなど、事業の選択的な投資やアウトソーシングが活発化することが予想されます。また、平成16年4月には業界平均4.2%の引き下げ幅となる薬価改定も実施され、企業の経営環境にも大きく影響を与えることが考えられます。こうした状況のもと、平成14年8月に厚生労働省により示された「医薬品産業ビジョン」においてわが国製薬業界に求められている国際競争力強化は更に重要とな

ってきており、経営資源の効率的な配分がますます進んでいくものと考えられます。



## 第5次中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

**A** 当社では「企業価値向上」を追求し、「質を求める経営の徹底」を更に推進する第5次中期経営計画（平成13年度から平成17年度まで）を進めてまいります。

その重点課題は、医療用医薬品の新薬パイプラインの充実、ナショナルブランド品の育成・強化によるヘルスケア事業の充実拡大、医療用医薬品事業、ヘルスケア事業に次いでコアとなる新規事業の構築です。

ゲノム情報の活用による新薬創製に対応すべく設立した100%出資のバイオベンチャー「株ジーエスブラッツ」では国内外の大学、企業との共同探索研究を進めており、これらのプロジェクトの研究を初期段階から中央研究所と連携させることによって、国際社会に貢献する新薬創出を目指してまいります。



## 次期の取り組みについてお聞かせください。

**A** 医療用医薬品事業では、更に情報化投資を積極化すると同時に、より市場に密着した営業活動を目的とした組織に変更し市場構築の強化に取り組んでまいります。

ヘルスケア事業では、今後本格化する超高齢社会を展望しセルフメディケーションに対応した製品開発を推進して行きます。また、販路別の事業体制の整備・強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて8品目であります。

## 研究開発の状況

### 1) 国内開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	ZC-102/ ベオン錠	共同開発 (日本ケミファ)	急性上気道炎	シクロオキシゲナーゼ阻害	効能追加
フェーズⅢ 追加試験	Z-100/ アンサー注	自社	子宮頸癌	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫調節</li> <li>白血球増加作用</li> <li>好中球機能亢進作用</li> </ul>	効能追加
フェーズⅢ	Z-205	自社（導入）	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤唯一の錠剤タイプ	
フェーズⅡ 終了	Z-335	自社	閉塞性動脈硬化症	トロンボキサンA <sub>2</sub> 受容体拮抗剤	
フェーズⅡ	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅡ	Z-103/ プロマック顆粒	自社（導入）	味覚障害	亜鉛補充剤	効能追加
フェーズⅠ	Z-206	自社（導入）	炎症性腸疾患	メサラジン腸溶製剤	

### 2) 海外開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅡ (欧州)	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅡ (北米)		共同開発 (山之内製薬)			
フェーズⅠ 終了(欧州)	Z-360	自社	消化性潰瘍	ガストリン受容体拮抗作用	

## 株主様優待のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。私たちの業務に対する皆様のご理解をいただきますよう、当社の製品をお試しいただくことにいたしまして2つのコースを設け、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

### 実施の方法

毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単元)以上の株主の皆様に対し、年間2回、下記のAまたはBコースのいずれかを贈呈いたします。

### A コース

からだの脂肪を考える、新概念食品

『新健康習慣』<sup>2週間セット</sup> 1箱

新健康習慣は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。

「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方にオススメです。



### B コース

ローヤルゼリー配合

『ももの味』『りんご味』  
『新健康習慣げんとう四健茶』セット

ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合して大好評の「ももの味」「りんご味」を各10本。さらに緑茶に桑、ヤーコン、バナバをブレンドした健康茶、「新健康習慣げんとう四健茶」3箱をセットにしました。

(ローヤルゼリー配合ももの味50mL×10本入1箱)  
(ローヤルゼリー配合りんご味50mL×10本入1箱)  
新健康習慣            げんとう四健茶14袋入×3箱)



# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度 平成16年3月31日現在	前連結会計年度 平成15年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
流動資産		25,444	29,499
現金及び預金		2,309	3,099
受取手形及び売掛金		17,092	19,103
有価証券		—	614
たな卸資産		3,695	4,777
繰延税金資産		805	1,006
その他		1,640	1,029
貸倒引当金		△99	△130
固定資産		22,859	20,810
有形固定資産		15,611	15,812
建物及び構築物		5,210	5,414
機械装置及び運搬具		777	764
土地		9,338	9,338
その他		284	294
無形固定資産		208	166
投資その他の資産		7,040	4,830
投資有価証券		4,137	1,477
繰延税金資産		1,243	1,882
その他		1,804	1,665
貸倒引当金		△144	△193
資産合計		48,304	50,310

科目	期別	当連結会計年度 平成16年3月31日現在	前連結会計年度 平成15年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>			
流動負債		15,017	16,314
支払手形及び買掛金		6,515	7,951
短期借入金		3,431	1,554
未払法人税等		740	2,025
賞与引当金		977	1,159
返品調整引当金		265	417
売上割戻引当金		410	485
その他		2,676	2,720
固定負債		3,957	4,287
長期借入金		1,217	1,351
退職給付引当金		2,456	2,634
役員退職慰労引当金		212	199
その他		70	101
負債合計		18,974	20,602
<b>【少数株主持分】</b>			
少数株主持分		—	—
<b>【資本の部】</b>			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,397
利益剰余金		20,040	19,226
その他有価証券評価差額金		945	△133
自己株式		△3,647	△1,375
資本合計		29,330	29,708
負債、少数株主持分及び資本合計		48,304	50,310

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高		54,375	55,055
売上原価		26,960	26,231
返品調整引当金戻入額		△152	△154
売上総利益		27,567	28,978
販売費及び一般管理費		25,519	25,801
営業利益		2,047	3,177
営業外収益		451	394
受取利息		0	1
受取配当金		33	33
有価証券売却益		107	—
出資金運用益		—	160
為替差益		211	156
損害補償金		47	—
その他		50	42
営業外費用		94	566
支払利息		66	95
有価証券評価損		—	444
債権譲渡損		11	9
その他		16	17
経常利益		2,404	3,004
特別利益		668	1,561
貸倒引当金戻入額		18	—
販売権行使許諾金		650	1,500
退職給付信託設定益		—	61
特別損失		100	352
固定資産売却損		0	8
固定資産除却損		13	10
固定資産評価損		—	166
貸倒引当金繰入額		—	31
契約解約金		—	99
退職加算金		85	35
税金等調整前当期純利益		2,972	4,214
法人税、住民税及び事業税		1,318	2,725
法人税等調整額		100	△550
当期純利益		1,553	2,039

## 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高		5,397	5,397
資本剰余金期末残高		5,397	5,397
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		19,226	17,954
利益剰余金増加高		1,553	2,039
当期純利益		1,553	2,039
利益剰余金減少高		739	767
配当金		739	767
利益剰余金期末残高		20,040	19,226

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,339	9,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		△816	△842
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,272	△7,598
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	—
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		△749	1,250
現金及び現金同等物の期首残高		2,928	1,677
現金及び現金同等物の期末残高		2,178	2,928

# 財務諸表(単体)

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成16年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産		24,527	28,948
現金及び預金		1,419	1,610
受取手形		1,227	1,422
売掛金		16,197	18,931
有価証券		—	614
製品及び商品		2,055	1,923
半製品及び仕掛品		397	562
原材料及び貯蔵品		1,141	1,275
未着品		68	980
前渡金		571	345
前払費用		88	97
繰延税金資産		757	959
その他		690	349
貸倒引当金		△89	△124
固定資産		21,423	19,294
有形固定資産		13,911	14,097
建物		4,428	4,592
構築物		233	257
機械装置		771	758
車両運搬具		5	6
工具器具備品		281	264
土地		8,188	8,188
建設仮勘定		2	29
無形固定資産		207	165
特許実施権		40	47
ソフトウェア		143	94
その他		23	23
投資その他の資産		7,304	5,031
投資有価証券		3,882	1,239
出資金		706	663
繰延税金資産		1,172	1,811
敷金及び保証金		532	539
長期前払費用		114	—
その他		1,040	971
貸倒引当金		△144	△193
資産合計		45,950	48,242

科目	期別	当期	前期
		平成16年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在
<b>[負債の部]</b>			
流動負債		14,389	15,875
支払手形		3,439	4,366
買掛金		3,061	3,560
短期借入金		3,200	1,400
1年以内返済予定の長期借入金		21	21
未払金		1,788	1,801
未払費用		307	299
未払法人税等		495	1,867
未払消費税等		1	290
預り金		48	49
賞与引当金		960	1,143
返品調整引当金		265	417
売上割戻引当金		410	485
その他		389	171
固定負債		2,679	2,866
長期借入金		16	38
退職給付引当金		2,456	2,634
役員退職慰労引当金		205	193
その他		0	0
負債合計		17,069	18,741
<b>[資本の部]</b>			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,397
資本準備金		5,397	5,397
利益剰余金		19,592	19,019
利益準備金		1,648	1,648
任意積立金		15,959	13,959
別途積立金		15,959	13,959
当期未処分利益		1,984	3,411
株式等評価差額金		945	△133
自己株式		△3,647	△1,375
資本合計		28,881	29,500
負債及び資本合計		45,950	48,242

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
<b>【経常損益の部】</b>			
<b>営業損益の部</b>			
営業収益		52,999	53,936
売上高		52,999	53,936
営業費用		51,807	51,331
売上原価		26,696	25,880
返品調整引当金戻入額		△152	△154
販売費及び一般管理費		25,263	25,605
営業利益		1,192	2,604
<b>営業外損益の部</b>			
営業外収益		691	483
受取利息及び配当金		264	112
有価証券売却益		107	—
出資金運用益		—	160
為替差益		211	156
その他の営業外収益		108	53
営業外費用		66	538
支払利息		39	67
有価証券評価損		—	444
その他の営業外費用		27	26
経常利益		1,817	2,550
<b>【特別損益の部】</b>			
特別利益		671	1,561
貸倒引当金戻入額		21	—
販売権行使許諾金		650	1,500
退職給付信託設定益		—	61
特別損失		100	252
固定資産売却損		0	8
固定資産除却損		13	10
固定資産評価損		—	166
退職加算金		85	35
貸倒引当金繰入額		—	31
税引前当期純利益		2,388	3,859
法人税、住民税及び事業税		974	2,527
法人税等調整額		101	△533
当期純利益		1,312	1,865
前期繰越利益		1,036	1,927
中間配当額		364	381
当期末処分利益		1,984	3,411

## 利益処分

(単位:円)

科 目	期 別	当 期	前 期
当期末処分利益		1,984,795,796	3,411,875,265
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		358,373,264 (1株につき8円)	375,271,448 (1株につき8円)
任意積立金			
別途積立金		600,000,000	2,000,000,000
次期繰越利益		1,026,422,532	1,036,603,817

(注) 1. 平成15年12月10日に364,532,712円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。

2. 利益配当金は自己株式3,493,515株を除いて計算しております。

# 連結財務ハイライト

項目	第46期 H12/3	第47期 H13/3	第48期 H14/3	第49期 H15/3	第50期 H16/3
売上高 (百万円)	56,183	55,766	53,837	55,055	54,375
経常利益 (百万円)	6,124	6,405	3,924	3,004	2,404
当期純利益 (百万円)	3,111	1,365	1,449	2,039	1,553
総資産 (百万円)	56,566	62,650	55,029	50,310	48,304
株主資本 (百万円)	28,811	29,306	29,730	29,708	29,330
株主資本利益率 (ROE) (%)	11.4	4.7	4.9	6.9	5.3
売上高経常利益率 (%)	10.9	11.5	7.3	5.5	4.4
売上高当期純利益率 (%)	5.5	2.4	2.7	3.7	2.9
総資本経常利益率 (%)	11.0	10.7	6.7	5.7	4.9
株主資本比率 (%)	50.9	46.8	54.0	59.1	60.7
1株当たり当期純利益 (円)	64.27 (63.43)	28.28 (27.47)	30.03 (30.03)	42.82	33.93
1株当たり株主資本 (円)	596.65 (595.81)	606.90 (606.08)	617.07 (617.07)	633.32	654.74

(注) 第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお第48期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり株主資本について同会計基準を適用して算出した場合を( )内に記載しております。

## 連結子会社 2社

### ゼリアヘルスウエイ株式会社

売上高 64億99百万円  
 資本金 85百万円 (議決権比率100%)  
 事業内容 健康食品の仕入・販売

### 株式会社ゼービス

売上高 5億66百万円  
 資本金 1億80百万円 (議決権比率100%)  
 事業内容 保険代理業・不動産業等

# 会社情報 (平成16年3月31日現在)

## ■ 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,247名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療用具の製造、 販売及び輸出入

## ■ 役員 (平成16年6月29日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
専務取締役	林 田 雅 博
常務取締役	佐々木 耕 治
常務取締役	福 山 厚
常務取締役	猪 口 博 明
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	長 江 晴 男
取 締 役	吉 田 泰 久
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	花 田 雅 彦
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	瀬 沼 宏 章
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	田 中 辰 幸
監 査 役	小笠原 日出男
監 査 役	中 由 規子

## ■ 事業所

- 本 社 東京都中央区
- 札幌支店 札幌市
- 仙台支店 仙台市
- 東京支店 東京都中央区
- 神奈川営業所 横浜市
- 埼玉営業所 さいたま市
- 千葉営業所 千葉市
- 北関東営業所 水戸市
- 関越営業所 新潟市
- 甲信営業所 松本市
- 名古屋支店 名古屋市
- 静岡営業所 静岡市
- 大阪支店 吹田市
- 大阪第二営業所 堺市
- 神戸営業所 神戸市
- 京都営業所 京都市
- 金沢営業所 金沢市
- 中四国支店 広島市
- 岡山営業所 岡山市
- 高松営業所 高松市
- 福岡支店 福岡市
- 中央研究所 埼玉県大里郡
- 埼玉工場 埼玉県大里郡
- 筑波工場 牛久市
- 東京物流センター 川口市
- 札幌物流センター 札幌市
- 埼玉物流センター 埼玉県大里郡
- 大阪物流センター 大東市
- 出張所  
青森・郡山・宇都宮・富山・津・米子・山口・松山・高知・徳島・  
大分・熊本・長崎・鹿児島・沖縄

## 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 **119,860,000株**
- ② 発行済株式の総数 **48,290,173株**
- ③ 株主数 **3,544名**

## 大株主

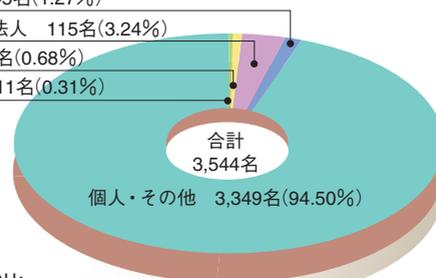
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	12.5	—	—
株式会社UFJ銀行	2,254,045	5.1	—	—
ロサラード株式会社	2,152,079	4.9	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,099,417	4.8	—	—
森永乳業株式会社	1,854,741	4.2	1,596	0.0
第一サントリーファーマ株式会社	1,600,000	3.6	—	—
伊部 幸頭	1,398,425	3.2	—	—
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.9	—	—
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.4	—	—
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社(信託口)	877,000	2.0	—	—

(注) 上記の他に、当社が自己株式として3,493,515株所有しております。

## 所有者別株式分布状況

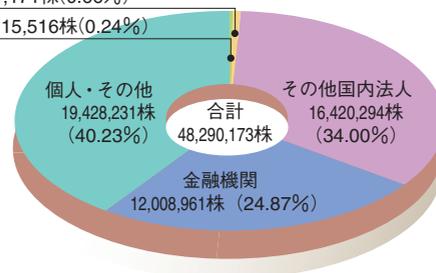
### ◎ 株主数構成比

- 金融機関 45名(1.27%)
- その他国内法人 115名(3.24%)
- 外国人 24名(0.68%)
- 証券会社 11名(0.31%)

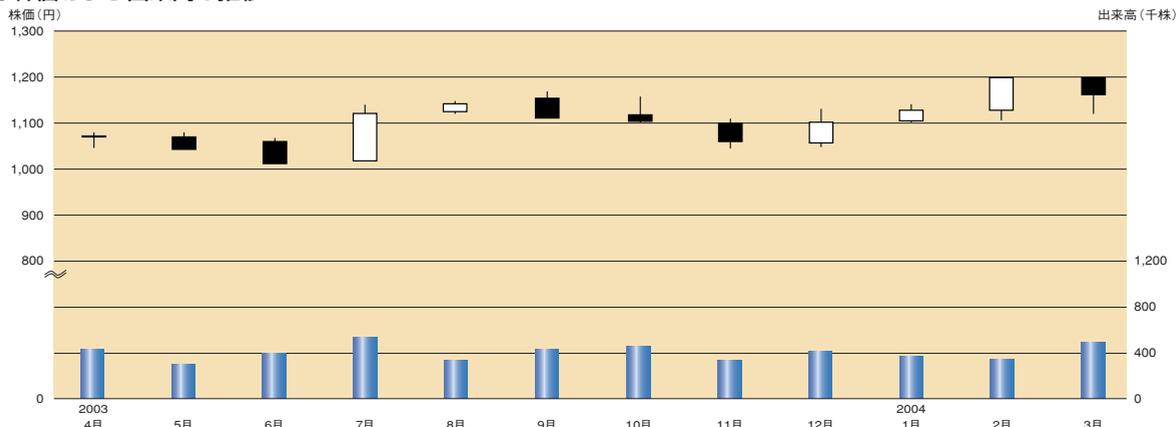


### ◎ 株式数構成比

- 外国人 317,171株(0.66%)
- 証券会社 115,516株(0.24%)



## 株価および出来高の推移



## 株主メモ

- 決算期 3月31日
- 利益配当金 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告掲載新聞 日本経済新聞  
ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、当社ホームページ  
<http://www.zeria.co.jp/kessan/index.html>  
において提供します。
- 名義書換代理人 〒105-8574  
東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部  
03-3323-7111 (代)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 証 券 コ ー ド 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未済株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

☎0120-87-2031

[https://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06/p\\_06\\_11.html](https://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06/p_06_11.html)  
で24時間受付しております。

最新のIR情報は  
当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp/>